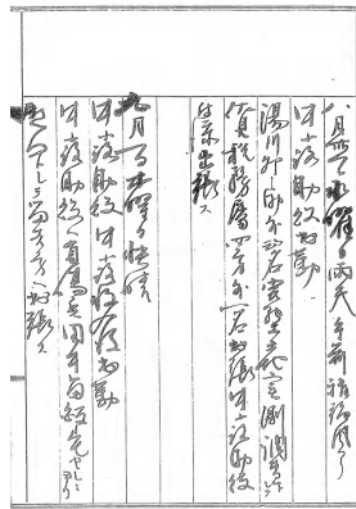


2023年 乙訓の文化遺産を守る会



第75回歴史文化教室のご案内

現代史部会では、日露戦争がはじまった明治37（1904）年の海印寺村役場の「日誌」を読みすすめてきました。100年前の村役場の記録を通して、村の動きや人々の暮らしをふりかえってみます。村のしくみ／農事／教育／交通／兵事などに分け、学習会の参加者がリレー報告します。



と き： **3月12日（日）**
13時30分～16時

会 場： **長岡京市 奥海印寺自治会館**

阪急長岡天神駅から阪急バス、奥海印寺方面行（9番）13時7分発、海印寺下車（13時12分）北へ300m / 駐車場有

報 告 （現代史部会レポート）「明治の村役場の風景」
—明治37年「海印寺村日誌」をよむ—

1 海印寺村と村役場「日誌」 / 2 「日誌」にみる農事関係 / 3 「日誌」にみる教育関係 / 4 「日誌」にみる道路関係 / 5 日露戦争と海印寺村（兵事 / 見送り / 戦死・村葬）

明治期に生きた 地元の皆さんも出てきます

※ 資料代300円

※ 新型コロナウイルス感染症の状況により、当日はマスク着用をおねがいします。

お問合せ：事務局 〒617-0002 向日市寺戸町西野辺8
長谷川 (☎ 090-9284-7321)

「乙訓の文化遺産を守る会」は、長岡京を発見・発掘した中山修一らが1966（昭和41年）年に設立した団体です。乙訓の文化遺産を保護・活用する活動を行っています。今回は海印寺村にあった明治37・38年の日誌を読んで当時の乙訓地区の状況を紹介します。

